

## 採点基準 英語

\*この採点基準では、部分点・別解の判断を要する問題のみ取り上げています。ここに取り上げられていない問題には部分点は生じず、配点分の得点を与えるか、0点となります。

### ◆採点上の原則

\*各問の基準として別記がない場合は、次に従うものとする。

- ①原則として減点方式により採点する。減点が配点を上回った時点で採点を終えてよいものとする。なお、減点箇所には、波線や山カッコなどを入れる。
- ②制限字数を超えている（解答欄をはみ出している）ものは適宜減点。（句読点は含まず）
- ③誤字・脱字は、1つにつきマイナス1点。但し、旧字の送り仮名や「ら」抜きなど、意味の取り違えが生じない場合は減点しない。また、指示がない場合、句読点の有無に関する誤りは、不問とする。
- ④解答例と差異があっても、内容が大きく捉えられているものには点数を与える。

同じ単語や漢字の間違いは1回のみ減点。

### 1 語句整序問題 (配点 30点)

問1～問5 3点×10=30点

### 2 長文読解問題 (配点 60点)

問1 2点×5=10点 問2～問6 3点×5=15点  
問7～問13 5点×7=35点

### 3 長文記述問題 (配点 60点)

問1 4点×3=12点 問2 5点×3=15点  
問3 6点  
問4 12点

【設問】 下線部(1)の事実からわかることを、30字程度の日本語で説明せよ。

【解答】 学生たちは図に含まれる形を単に予想していただけだということ。(30字)

【別解】 学生たちは、図に含まれる形状を当てずっぽうに答えていたということ。(33字)

### 【基準・配点】

- 以下に言及のない（誤字などの）ミスは、1つにつき原則-1点。
- カタカナ・ブランク・英語の抜き出しはマイナス1点。
- 虫食い答案は採点するが、明らかな立消え答案（学生は、など）は部分点0点。

部分	点数	-0点(許容)	-1点
① 学生たちは	1	非共感覚者は	彼らは
② 図に含まれる形を	4	図に含まれる形状を/三角形か円かを /2と5を見分ける	triangleを「四角」とした もの/多くの数字を 見分ける
③ 単に予想していただけ だ	6	当てずっぽうに答えていた/当て推量 で答えていた	
④ ということ。	1		文末処理を怠ったもの

\*「数字に色がついていなければ、すぐに三角形か円かを判断できないということ。」といったように、  
下線部に続く箇所のうち、sinceの節内の内容を根拠としたものであれば点を与える。

\*下線部における“about 50 percent”を学生の数と取り違えたものはマイナス4点。

問5 15点

【設問】 筆者が下線部(2)の結論を導くに至った根拠を、本文中で示された実験の結果を踏まえて、90字程度の日本語で説明せよ。

【解答】 ミラベルは、白黒の画面に表示された図であっても大局的形状を80%か90%の確率で識別できたが、それは数字が異なる色で塗り分けられた図を非共感覚者が見た場合の確率と同等であったということ。(93字)

【別解】 白黒の画面上における数字の成す大局的形状についてのミラベルの的中率は80%から90%であり、それは非共感覚者に数字が色分けされた図を示した場合の確率と同等であったということ。(87字)

【基準・配点】

- 以下に言及のない(誤字などの)ミスは、1つにつき原則-1点。
- カタカナ・ブランク・英語の抜き出しはマイナス1点。
- 虫食い答案是採点するが、明らかな立消え答案(「生物が」など)は部分点0点。

[内容]

部分	点数	-0点(許容)	-1点
① 白黒の画面に表示された図であつても	1	白黒の画面上における	
② ミラベルは(1)、～大局的形状を80%か90%の確率で識別できた(6)が	7	数字の成す大局的形状についてのミラベルの的中率は80%から90%であり	「ミラベル」に関する記述のないもの
③ それは非共感覚者が(1)数字が異なる色で塗り分けられた図を見た場合の確率(4)と同等であった(1)	6	それは非共感覚者に数字が色分けされた図を示した場合の確率と同等であった	認知率が変わらないという点を明確に示していないもの
④ ということ。	1	～から。	文末処理を怠ったもの

\*「80%~90%」という記述が無いものでも、非共感覚者とミラベルの的中率が同じだったということ

に言及できているものは点を与える。

\* 「共感覚によって得られる色は大局的の形状を作る」といったように、下線部の記述そのものの繰り返しの内容を述べているものはマイナス 3 点。

\* 「ミラベルにおいて誘発された色が本物の感覚現象である」といった、下線部の先に示されたさらに大きな結論を「根拠」の中に含めているものはマイナス 3 点。

**4 長文空所補充問題 (配点 30 点) 3 点×10=30 点**

【設問】 空所 ( A ) ~ ( J ) に入る最も適切な動詞を下の語群から選び、必要ならば正しい形に直して 1 語で解答欄に記入せよ。1 つの単語を複数回使ってはならない。

【解答】 A published B lead C correct D expected E developed  
F known G examine H increase I seems J give

【基準・配点】

- 選択すべき単語の間違いは 0 点。
- スペリングの間違いは 1 カ所につきマイナス 1 点。
- 語形変化の間違いはマイナス 1 点。

(A) publish, publishing, publishes はマイナス 1 点。

(B) leading, led, leads はマイナス 1 点。

(C) correcting, corrected, corrects はマイナス 1 点。

(D) expect, expecting, expects はマイナス 1 点。

(E) develop, developing, develops はマイナス 1 点。

(F) know, knowing, knew, knows はマイナス 1 点。

(G) examining, examined, examines はマイナス 1 点。

(H) increasing, increased, increases はマイナス 1 点。

(I) seem, seeming, seemed はマイナス 1 点。

(J) giving, gave, given はマイナス 1 点。

減点の事例で、さらにスペルミスがある場合は、さらにマイナス 1 点(lead ed など)。

**5 自由英作文 (配点 20 点)**

【設問】 下記テーマについて、英語で自分の考えを述べよ。書体は活字体でも筆記体でもよい。使用語数は 60 語~80 語とする。なお、実際の語数を解答欄末尾の所定箇所に記入せよ。

The writing will be evaluated from the viewpoint of both quantity and quality. The evaluation will also consider whether what you write responds to the question. You are expected to write one complete essay.

Recent research has focused on the importance of failure. Failure is sometimes painful, but it is also said to be a stepping stone to growth. On the other hand, there are those who believe that one grows faster by accumulating successes than by failing. Failure can also cause a loss of confidence and motivation. What do you think about the relationship between failure and growth? Write your opinion and explain in detail why you think that way.

【解答①】 In my opinion, whether failure can motivate you to try harder or not depends on the environment in which you work or study. If those around you see failure as definitive proof of your incompetence, it

will be too heavy a burden to overcome ; if your environment emphasizes challenge and effort to achieve your goal, failure will make you work harder. Therefore, it is important to create an encouraging environment so that failure can be a stepping stone to growth. (80 words)

(私の考えでは、失敗によって人がさらに努力をしようという気になるかどうかは、仕事や勉強をする環境によって決まる。失敗が自分の無能さを証明する決定的な証拠だと周囲が見なすなら、失敗は乗り越えるには重すぎる重荷となるだろう。一方、目標達成のための挑戦や努力を重視する環境なら、失敗によって人はさらに努力しようと促されるだろう。したがって、失敗が成長への足がかりとなるよう、勇気づける環境を作ることが重要である。)

**【解答②】** As the old saying goes, failure is the mother of success. However, failure is not a sufficient condition for success. What does it take to learn from our failures?

In my opinion, it is the ability to face our failures and calmly analyze their causes. This process of reflection and analysis will lead us to develop new skills, acquire more knowledge, and refine our strategies.

In this way, we can use our failures as opportunities to maximize our potential. (79 words)

(古いことわざにあるように、失敗は成功の母である。しかし、失敗は成功の十分条件ではない。失敗から学ぶためには何が必要だろうか？)

私の考えでは、それは、失敗を直視し、その原因を冷静に分析する能力である。この反省と分析の過程を経ることで、私たちは新たな技能を身につけ、さらなる知識を獲得し、戦略を改善するようになるだろう。

こうすることで、私たちは失敗を、自分の潜在能力を最大限に引き出す機会として活用することができるのだ。)

**【解答③】** It is often said that failure can lead to profound personal development, but some people take it too seriously and fall into a vicious spiral of self-criticism and helplessness. I'm of the opinion that sometimes we need to avoid facing our failures and get a new perspective. This will re-energize us to try new approaches more casually. On the other hand, overemphasizing the importance of failure will most likely lead us into a dead end. (75 words)

(失敗は、人としての大きな成長をもたらさうとよく言われるが、中には失敗を深刻に受け止めすぎて、自己批判と無力感の悪循環に陥る人もいる。私の意見は、時には失敗と向き合うことを避け、新たな視点を得ることも必要だ、というものだ。そうすることで、私たちは新しいやり方をもっと気軽に試してみようという気力を取り戻すことができる。一方で、失敗の重要性を強調しすぎると、往々にして私たちは行き詰まることになるだろう)

**【解答④】** In my opinion, the opportunity to try again determines whether we can learn from our failure. As the leader of my basketball team, I was unable to lead my team to victory in the spring tournament. This failure was painful, but it taught me the importance of better communication within the team. By learning from this experience, we eventually won the fall tournament. This way, if we can try again, we are motivated to make the most of our failures. (80 words)

(私の意見では、再度挑戦する機会があるかどうか、失敗から学ぶことができるかどうか

を決める。私は、バスケットボール部のリーダーとして、春の大会ではチームを勝利に導くことができなかった。この失敗は痛みを伴うものであったが、チーム内の意思疎通を高めることの重要性を私に教えてくれた。この経験から学ぶことで、私たちは最終的に秋の大会で優勝することができた。このように、再び挑戦することができるなら、人は失敗を生かそうという意欲をもつことができるのだ。)

## 【基準・配点】

<自由英作文問題の採点の手順>

1. 語数・英語の正しさの減点をしたあと、
2. 内容面を満たしているかを確認してください。

### 1. 語数・英語の正しさ

#### i. 語数

\*明らかに過不足がありそうなもののみ語数カウントして確認し、以下の基準で減点して下さい。

- |                     |   |                |
|---------------------|---|----------------|
| □ 15語未満／131語以上      | ⇒ | マイナス15点(最大5点)  |
| □ 15語～29語／111語～130語 | ⇒ | マイナス10点(最大10点) |
| □ 30語～44語／91語～110語  | ⇒ | マイナス5点(最大15点)  |
| □ 45語～59語／81語～90語   | ⇒ | マイナス1点(最大19点)  |

\*語数の過不足で減点した場合、「語数不足」或いは「語数超過」と付記して下さい。

#### ii. 形式

\*段落頭のインデントの有無は不問。

#### iii. 英語の正しさ

- 1) 句点やピリオドの欠落、ijのドットやtの棒の脱落は減点しない。
- 2) 英語として多少不自然でも、意図が伝わるように表現できていれば広く認め、単語のニュアンスが多少ずれているものも減点しない (下線で指摘のみ)。基本単語の明らかな誤りや、基本的な文法面を中心に減点する。
- 3) 例えば60語は満たしていて、4文で構成されている場合、そのうちの1文が英文として成立していない、といった答案例であれば、各文の配点を20点×1/4=5点と換算し、その分を差し引くものとする。
- 4) その他

- ・短縮形の使用はすべて認める。
- ・大文字・小文字は不問 (誤りでも指摘だけで減点しない)。
- ・スペルミスはマイナス1点。三人称単数現在のミスもマイナス1点。
- ・名詞の単複と  $\square$   $\square$  の誤りはマイナス1点。
- ・動詞の語形の誤り、語句の誤りなどすべて1箇所につきマイナス1点。
- ・同一の誤りが複数回ある場合、減点は原則初出の1回のみ減点。  
(減点箇所に波線、抜け箇所に $\surd$ をつけて、減点数を付記する)
- ・欠如語句の箇所には、語と語の間に $\surd$ を入れて指摘。
- ・語数の記入漏れはマイナス1点。

## 2. 内容面

1. 全く無関係な事柄について書いているものは0点(マイナス20点)。ただし、表現力が足りていないために、関係のないことを論じているように見える答案に関して部分点を与える。例えば、失敗の重要性を論じようとして、自らの体験談を記述して、最終的にその「重要性」とは関係のない議論に終始してしまった場合などは、結論が欠けていると見なして、部分点(最大で15点)を与える。
2. 『主張(5点)→理由(10点)→結論(5点)』という基本的な流れで構成されているかどうかを確認。ただし、主張と理由の関係が明確であれば、結論(reword)は必須ではない。その場合結論が無くても減点はしない。
3. 結論を導くのに妥当な理由が一切述べられていない場合はマイナス10点。  
(ただし、厳密にこの方針を採用する必要はなく、ある程度採点者の裁量で減点する)

### 採点の参考基準

#### 内容上のポイント

- ・「失敗は成長とは無関係なので、この問題を論じることに意味がない」など提起された問題に答える気のない答案はマイナス20点。
- ・「自分の経験」を基に述べたものも許容するが、それが結局「失敗と成長との関係」とつながらない場合は減点する(マイナス5点)。
- ・「難しい問題であり正解はない」など玉虫色の解答をして、理由もなく自らの意見を述べることを避けているものはマイナス15点。理由を示しているものはマイナス5点。

## 6 文法・語法に関する問題 (配点 20点)

A 1点×12=12点

B 2点×4=8点

以上